神戸女学院大学における地域連携の取組について



神戸女学院大学　岡田山キャンパス（国の重要文化財に指定）

神戸女学院大学の地域連携方針

2025年創立150年を迎え、神戸女学院大学は、建学の理念「愛神愛隣」の精神に根ざし、地域・社会とともに歩む大学として、学生・教職員が学びと研究の成果を広く還元できるよう努めています。

PICK UP

大学の研究者



環境・バイオサイエンス学科
髙橋　大輔　教授

■　主な研究内容

動物生態学

動物の生態や行動、生物同士の関係性を明らかにし、生物多様性を保全する具体的な方法を考えています。
湖沼や河川、里地里山におけるフィールドワークや室内実験を行っています。

※研究者の経歴等は（URL：https://www.kobe-c.ac.jp/learning/kyoin/takahashi_daisuke/）をご参照下さい。

デジタル技術の活用
（装置・ディバイス）

地域課題解決に向けた活用例

■　活用分野

教育・環境

■　活用例

タブレット端末の教育現場での活用
- 保育所の子どもたちに自然への関心を高めてもらい、SDGsに繋がる新しい学びの場を提供を提供するため、タブレット端末を活用し、オリジナルの生き物図鑑を作成

地域との連携形態について

地域との連携形態

神戸女学院大学では学長室が地域連携の窓口となっています。連携事業や講師派遣などのお問い合わせがありましたら、総合窓口として、本学教員とのマッチングを行います。

連携先	神戸女学院大学学長室	神戸女学院大学
• 行政機関 • 地域団体・NPO • 民間企業 • 他大学	• 教員の講師派遣 • 行政・地域企業との連携事業 • 公開講座の開催	• 国際学部 • 文学部 • 音楽学部 • 心理学部 • 生命環境学部

学内と学外のマッチング

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



参考URL：https://www.kobe-c.ac.jp/news/?category=4、https://www.kobe-c.ac.jp/collaboration/

地域との連携実績について

地域との連携実績

神戸女学院大学は地域・社会連携ビジョン（2024-2030年度）を策定し、地域・社会のステークホルダーとの連携強化を進めています。
兵庫県、西宮市、芦屋市及び宝塚市と包括連携協定を締結し、地域社会の問題解決に取り組んでいます。

・過去の連携実績

年度	件数	主な連携事例
2024年	230件	01｜教育DX・ICT/STEAM連携 小中学校プログラミング体験授業（小野市・稲美町） 高校探究授業・英語科授業への協働支援（兵庫県立西宮北高校 ほか） TEAP試験連絡協議会 大学委員 / 英語検定面接委員 02｜メンタルヘルス・公的安全保障領域 自治体・学校における精神保健支援（西宮市・教育現場等） 消防学校 通信指令員研修（神奈川・滋賀・兵庫・秋田・大阪・奈良） 臨床実践者向け研修会（メンタライジング・親子支援など） 03｜芸術文化の社会循環・創造支援 合唱・吹奏楽・声楽・バレエ等の公開講座・全国コンクール審査 国際ダンス・音楽コンクールへの審査・指導（TAIWAN GRAND PRIX 他） 「音楽・表現を社会で活かす」レクチャー・指導プログラム 04｜スポーツ・ウェルビーイング・地域政策 西宮市スポーツ推進審議会（会長）/ 加古川市スポーツ推進会議委員 部活動“地域移行”政策検討（兵庫県・神戸市・芦屋市） 総合型地域スポーツクラブ運営・審査委員

連絡先
神戸女学院大学　学長室
TEL：0798-51-8533
Mail：p-office@mail.kobe-c.ac.jp